

機械器具32 医療用吸引器
一般医療機器 吸引器用キャニスター 34858000

リセプタル排液吸引システム (ライナー)

再使用禁止

【禁忌・禁止】
再使用禁止

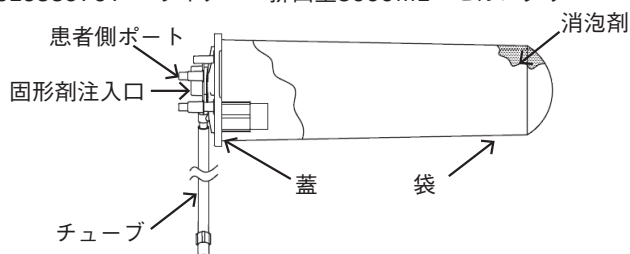
【形状・構造及び原理等】

〈形状・構造〉

本品は手術、処置等により患者から排出する血液、体液等の排出液をセントラルバキュームシステムにより排液袋に溜め、衛生的に廃棄、処理することを目的に使用される袋である。

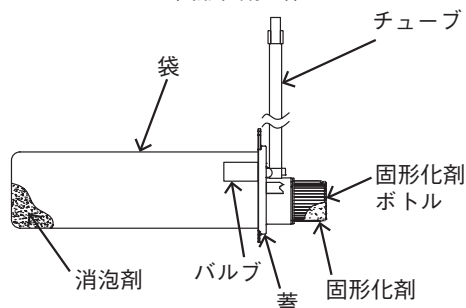
(1) ライナー

OL6508201	ライナー	排出型2000mL	プライマリー
OL6518201	ライナー	排出型2000mL	セカンダリー
OL6589701	ライナー	密封型2000mL	プライマリー
OL6599701	ライナー	密封型2000mL	セカンダリー
OL6548201	ライナー	排出型1500mL	セカンダリー
OL6579701	ライナー	密封型1500mL	セカンダリー
OL6569701	ライナー	排出型3000mL	プライマリー
OL6559701	ライナー	排出型3000mL	セカンダリー



図はライナー 排出型3000mL セカンダリー

53121S8201	ライナー	固形化剤一体型2000mL	プライマリー
53120S8201	ライナー	固形化剤一体型2000mL	セカンダリー

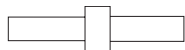


図はライナー 固形化剤一体型2000mL セカンダリー

(2) リセプタルテーパー

434730415 リセプタルテーパー-MM

院内セントラルバキュームシステム、キャニスター（別売）及びライナーをチューブで接続する際に必要に応じて使用するチューブ径の変換アダプタである。



(3) 追加エルボーアダプタ



・未滅菌

【使用目的又は効果】

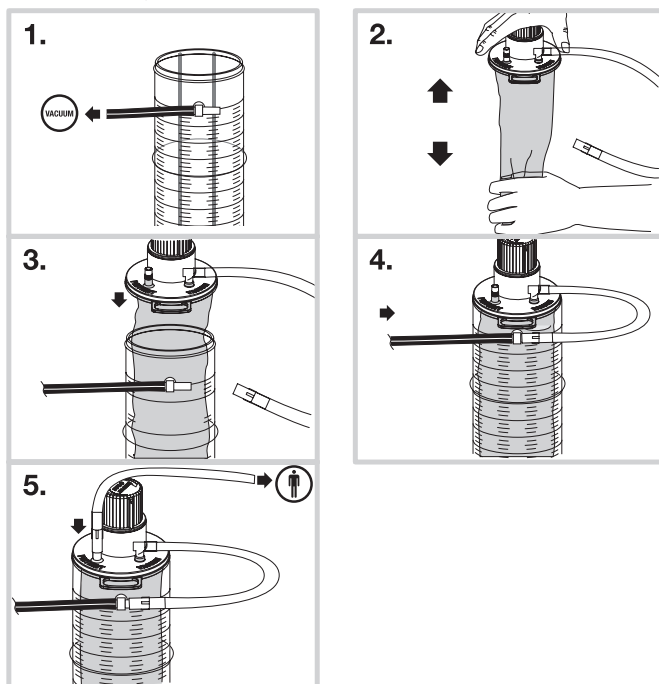
〈使用目的〉

体液の回収のため吸引器とともに使用するライナー、キャニスター及びその付属品である。

【使用方法等】

【A.ライナーを単独で使用する場合】（ライナーにはセカンダリーライナーを使用する）

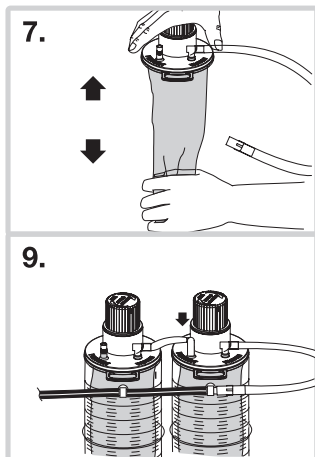
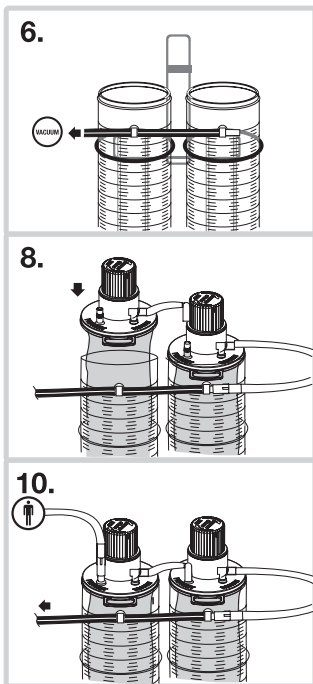
1. 真空配管側の吸引ラインをキャニスターティーの片側に接続します（図1）。
2. ライナーの袋部分をしっかりと全長まで引き伸ばして、キャニスターにセットします（図2）。
3. ライナーの蓋のタブ部分をキャニスターティーの真上に合わせ、キャニスターにしっかりと取り付けます（図3）。
4. ライナーのチューブをキャニスターティーのもう一方に接続します（図4）。
5. ライナーを膨らませるために吸引装置の電源をオンにします。患者側ポートに指を置いて吸引を確認します。
6. 直接又は追加エルボーアダプタで患者側ポートに患者側チューブを接続し、使用していないポートがある場合は、その全てにキャップをします。
7. 患者排出液の吸引を行います（図5）。
8. おおよその排液量を確認する際は、患者側ポートの吸引を行っている状態で、キャニスターの目盛を参照して測定します。キャニスターの最大容量ラインを超える液体レベルにならないようにします。



【B.連結使用の場合】

1. 1 番目のキャニスターティーの一方を真空配管側の吸引ラインに接続します。2 番目以降のキャニスターをキャニスターティー経由でチューブを相互に連結します（図6）。
2. ライナーの袋部分をしっかりと全長まで引き伸ばして、キャニスターにセットします（図7）。
3. 最後のキャニスターにセカンダリーライナーをセットし、ライナーチューブをキャニスターティーのもう一方に接続します。他のキャニスターにはシャットオフバルブ無しのプライマリーライナーをセットします（図8）。

- プライマリーライナーのチューブを隣接するライナーの患者側ポートに接続します（図9）。連結された全てのライナーに必要な応じて繰り返します。
- ライナーを膨らませるために吸引装置の電源をオンにします。患者ポートに指を置いて吸引を確認します。
- 直接又は追加エルボーアダプタで1番目のプライマリーライナーの患者側ポートに患者側チューブを接続し、使用していないポートがある場合には、その全てにポートキャップをします。
- 患者排出液の吸引を行います（図10）。
- およその排液量を確認する際は、患者側ポートの吸引を行っている状態で、キャニスターの目盛を参照して測定します。



【C. トロリーを使った連結使用の場合】

- 真空配管側の吸引ラインに接続します。
- ライナーの袋部分をしっかりと全長まで引き伸ばして、キャニスターにセットします。
- 最後のキャニスターにセカンダリーライナーをセットし、ライナーチューブをスタンドフレームにセットされたキャニスターティーターに接続します。他のキャニスターにはシャットオフバルブ無しのプライマリーライナーをセットし、スタンドフレームにセットされたキャニスターティーターはスタンドフレームに付属のプラグでキャップします。
- プライマリーライナーのチューブを隣接するライナーの患者側ポートに接続します。連結された全てのライナーに必要な応じて繰り返します（図11）。
- ライナーを膨らませるために吸引装置の電源をオンにします。患者側ポートに指を置いて吸引を確認します。
- 1番目のプライマリーライナーの患者側ポートに患者側チューブを接続し、患者排出液の吸引を行います。
- およその排液量を確認する際は、患者側ポートの吸引を行っている状態で、キャニスターの目盛を参照して測定します。



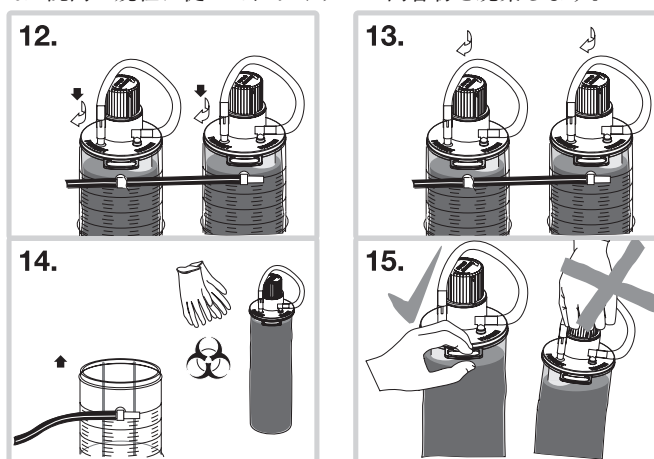
真空配管側の吸引ライン

図11

【D. 使用後の処置】

排液吸引終了後、以下の手順にて処置を行います。吸引圧をかけた状態で廃棄手順を進めてください。吸引圧のオフは固化剤投入後に行ってください。

- 吸引装置の電源はオンのままで、患者側ポートから患者側チューブを外し、廃棄します。
- 1番目のプライマリーライナーのチューブを隣接したライナーの患者側ポートから外し、1番目のプライマリーライナーの患者側ポートに接続し、下向きにねじこみ、密栓をします。必要な応じて、連結された2番目以降のライナーも繰り返します。
- 最後のセカンダリーライナーのチューブをキャニスターティーターから外し、患者側ポートに接続し、下向きにねじこみ、密栓をします（図12）。
- 排出型：必要な応じて、ライナーの固化剤注入口から固化剤等を入れ、排出液を固化させます。
- 密封型：密封処理のみ（固化剤注入口はありません）。
- 一体型：排出液を固化させるため、固化剤のボトルを、止まるところまで時計回りに回転させてください。固化剤が完全に落ちない場合は、反時計回りに少し戻し、再度、時計回りに回転させてください（図13）。
- 吸引装置の電源をオフにします。
- ライナーの蓋のタブ部分に親指をかけ、キャニスターから取り外します（図14）。
- 使用済みライナーは、安全に取り扱ってください（図15）。
- 院内の規程に従って、ライナーと内容物を廃棄します。



＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- ライナーのサイズに合ったリセプタル排液吸引システムキャニスターと併用すること。
- 吸引してもライナーがふくらまないときは、蓋やキャニスターティーターがしっかり装着されているか確認すること。
- プライマリーライナーのみを使用している場合は、チューブとキャニスターティーターの間に外付シャットオフバルブをセットすること。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) キャニスターの内部を乾燥させておくこと [ライナーのほり付きを避けるため]。
- 2) ライナーはよくしごいて、伸ばしてから使用すること。
- 3) セカンダリーライナーのキャニスターの一番上の目盛まで吸引しないように注意すること [シャットオフバルブが作動した場合、患者側サクションチューブ、及びライナー連結チューブ内に排液が残り、処理が困難になる可能性があるため]。
- 4) 吸引圧をかけた状態で廃棄手順を進めること [ライナーがキャニスターの中で大気圧に押されて縮み、ライナーが排液で完全に満杯になり、ライナー上部から溢れる可能性があるため]。

〈不具合・有害事象〉

本品の使用に際して、以下のような不具合が発生する可能性がある。

1) その他の不具合

- ・ライナーの破損
- ・患者側ポートの破損
- ・キャップの破損

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- 本品を保管するときは次の事項に注意すること。
- ・水濡れ、高温多湿及び直射日光を避けて保管すること。
 - ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所を避けて保管すること。
 - ・保管時（運搬時も含む）は、過度な振動・衝撃等に注意すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〈製造販売業者〉

smiths medical

スミスメディカル・ジャパン株式会社

<https://www.smiths-medical.com/ja-jp>

〈問合せ先〉

フリーダイヤル 0120-582-855

〈製造業者〉

アムシノ メディカル（シャンハイ）コ、エルティデイ

Amsino Medical (Shanghai) Co., Ltd.

〈国名〉

中華人民共和国